

教育哲学・音楽の研究

関連キーワード： 哲学教育、政治哲学、レオ・シュトラウス、音楽と哲学、音楽の美

研究内容

教育と音楽を哲学的な観点から捉える研究をしています。

①教育哲学の研究

教育哲学と政治哲学を総合的に捉えた視点からの研究を行っております。特にリベラル・エデュケーション、哲学教育に着目して、なぜ現代社会で哲学が重要なのか、哲学による人間形成を通じたあるべき社会の形成とはいかにして可能かという観点から、政治哲学者のレオ・シュトラウスの議論を中心に考察してまいりました。

②音楽と哲学の研究

オペラ団体に所属しソプラノ歌手としても活動しております。演奏経験を重ねるうちに音楽の美しさについて、哲学的見地からの研究も行うようになりました。現代の音楽哲学の視点も取り入れながら、音楽と関わりの深い哲学者たちの議論を検討しています。

③研究成果の可能性

教育哲学の研究経験と、声楽家としての演奏経験が相互に呼応するようになってきました。哲学的思考が教育と社会の問題を深めるだけでなく、演奏という実践を理論的に捉え直す契機となりました。今後も、哲学的探究を媒介として、教育・政治・音楽が相互に照射し合いながら再構築される可能性を探っていきます。

研究者プロフィール

志田絵里子
教養教育センター助教

ヨーロッパ文化総合研究所所員、宗教音楽研究所所員

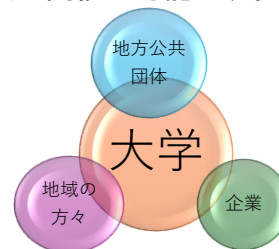
専門分野：教育哲学、音楽（声楽）

所属学会：教育哲学会、日本教育学会、政治哲学研究会、日本音楽表現学会

その他：公益財団法人日本オペラ振興会藤原歌劇団所属

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ

地域の方々や企業、地方公共団体とともに、大学の施設と研究成果を活かして「哲学カフェ」「レクチャーコンサート」など、哲学と音楽に関わるイベントの企画・開催が可能です。



研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122